

令和2年度7月号 [7月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

上級生の姿

校長 安部正幸

今年の入学式は、奇数学級と偶数学級に分けて実施しました。その際の「歓迎の言葉」は、在校生を代表して唯一出席した生徒会長の島崎さんによって、二回行われました。原稿は手に持っていました。その原稿は一切見ることなく、自分の言葉として新入生に向かって話していました。その姿は実に見事で、先生方の間でも大変話題になりました。この立派な3年生の姿を1年生の皆さんはどのように見たでしょうか。

普段の生活の中で

学校が再開され学校の様子を見るために何度か校内を巡回したことがありました。その際、給食の時間や清掃の時間に3年生のフロアを通ったことがありました。静かに要領よく給食を配膳している様子や、無言で清掃する様子を見て、東中で培ったこの2年間の成長ぶりを実感しました。また、3カ月間会わなかったうちに、身長も伸びてたくましさを感じた生徒も多くいました。名実ともに、東中の最上級生になっている彼らを見て誇りに感じました。

行事がなくなり失ったもの

学校総合体育大会、体育祭、合唱コンクールなど、今年は新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止になってしまいました。これらは、全て3年生にとって中学校生活最後の行事で、3年生が失ったものは図り知れないと思います。しかし、それ以上に東中が失ったものも多く、その代表が3年生の活躍や雄姿、歌声などを特に1年生に見せる（聞かせる）ことができなくなってしまったことです。東中はこれまで上級生が下級生に範を示し、その姿を受け継いでいくことを伝統としてきました。それが今年ではできません。先に述べた普段の生活を見ても、3年生はこれまでの先輩たち

同様に、素晴らしい最上級生としての姿を後輩たちに見せてくれたであろうことは間違いありません。これは、その姿を見ずに自分たちがいずれ先輩になっていく1年生にとっても大きな損失と言えるでしょう。

3年間で大きく成長する中学生

そのような3年生も、入学当初はやはり当時3年生だった72期生の姿を模範としていたことと思います。中学校は3年間で心身ともに大きく成長するところです。学年が上がるほど、様々なトラブルやいじめ問題等の発生件数が減少していくのは、その証拠だと考えます。3年生の姿を各行事で見る機会は少なくなりましたが、日常生活ではその姿を見る機会は、まだまだたくさんあります。そのような場面で、良き伝統が引き継がれていけばと願っています。

さて、最後に最近登校時に生徒会役員の皆さんが正門付近を掃除してくれていることに気づいたでしょうか。今年は生徒会による朝のあいさつ運動も現段階では実施することができていません。そのため、生徒会の皆さんが自分たちで考えて奉仕活動を実施しているのだそうです。このようにところにも、東中上級生の良き伝統が引き継がれているなど実感しているところです。